

『ドイツ作文教育受容史の研究』正誤表 お詫びして修正をお願いいたします。

頁	行	誤	正
x (目次)	第二章第一節	シュミューダー作文本質観と…	シュミューダーの作文本質観と…
10頁引用枠	2, 3, 5, 7	シュミューダー	シュミューダー
11	28		
23頁引用枠	2, 4		
24	最終行		
97	25		
52	28	ところに つて	ところに つて
74	13	①	(ア)
	15	②	(イ)
	24	毎年同一文題によって	毎年同一文題によって
77頁「13 馬淵冷佑」欄	15	活動をしている	活動をしてゐる
84頁「15 平野秀吉」欄	18	するという域	するといふ域
86頁 「18 駒村・五味」欄 7		文字文章によって	文字文章によつて
105	27	横走的な	●走的な
106	16	従つて	従つて
121	29	「説明的記述の態度」	「説明的記述の態度」
158	4	①ここからは	(①を次行冒頭に)
180	16	関する経験) の4	関する経験) の(4)
183	8	前段には	前段では
235頁	注140)の12行目	鈍化する	純化する
256	4	中核に据えながらも	中核に据えながらも
309	2	リトベール	リヒトベール
344	14	ガウディヒが	ガウディヒが
367	1	胚胎することとなった。	胚胎することとなつた。
	1	ことゝなつた	ことゝなつた
	3	綴方教授にあつても	綴方教授にあつても
397	23	「修身科教授例」	「修身科教授例」
400	下から2行目	『育學術界』	『育學術界』
403	6		
410	下から3行目		
411	24	水害の状況	水害の状況
444	29	シュミューダーに	シュミューダーに (※左1字サゲ)
493	17	余をもつて見れば	余をもつて見れば
527	13	説明文の価値	説明文の價值
547	19	7月20日印刷	7月20日発行
689	9	態度の練習	態度の練習
691	8	「児童に既有的のもの」	「児童既有的のもの」
713	14	綴り方の重要な部分	綴り方の重 なる部分
812	22	△花田視學	△花田視學
827	8	目的としている	目的としてゐる
833	4	といふことになつた	といふことになつた
	9	驚くべきものがあつた。	驚くべきものがあつた。
875	下から6行目	女子師範附●校の	女子師範附●校の
893	9	このような用語を考察した	このような用語を考察した
896	10	中心主義・同偏重主義	中心主義・同偏重主義
897頁「尋常科三学年の特徴」内		5、聯想は追はる	5、聯想に追はる
920	下から15行目	綴る態度の	綴る態度の (※左1字サゲ)
1011	下から5行目	「銅と鐵」	「銅と鐵」
1051「あとがき」	1	平成4 (1991) 年	平成4 (1992) 年